令和7年度に取り組む改善策

改善項目（1）留学生のSOSの迅速なキャッチ	
改善策	①留学生向けアンケート（生活実態調査）の実施 留学生の心身の変化やしま親または家族との関係性等について把握することは必要であるが、実施回数を年11回から8回に変更し留学生の負担軽減を図る。 【実施月】4月 5月 6月 9月 10月 11月 1月 2月 【実施方法】留学生の学習用タブレットに調査票を配信し回答してもらう。 ②アンケート（生活実態調査）の回答をもとに留学生面談の迅速な実施 ③定期的なしま親宅訪問の実施 ④保護者（実親）との連絡 ⑤学校との情報共有
改善項目（2）留学生情報の事前共有	
改善策	①アセスメントシートの作成・活用 ②保護者・児童生徒との面談の充実 親と子の留学目的や困り感等について、より本心に近い情報を聞き取るために親子別での面談を取り入れる等面談方法を適宜変更し、留学希望者や保護者が話しやすい環境づくりに努める。 ③留学希望者情報の事前共有
改善項目（3）しま親の負担感の軽減	
改善策	①留学生情報の提供 ②しま親と市教委でしま親宅の状況を鑑み協議のうえ、留学生の預かり上限を設定 ③緊急時対応マニュアルの作成 留学生向けマニュアルについて、留学生の理解を深める必要があるため、交流会等留学生が集まる機会に説明会を設ける。 ④緊急時避難場所の設定
改善項目（4）留学生活の充実	
改善策	①しま親交流会の実施 ②留学生交流会の実施 ③保護者交流会の実施 親子留学保護者から要望があった「保護者交流会」を実施し、保護者の留学生活の困り事や不安感について意見交換できる機会を設ける。 【実施方法】各学期1回程度 芦辺庁舎内会議室を利用し保護者主体の交流会とする。 ④留学レポートの導入 留学目的意識向上及び留学生活の成果を可視化するため、学年に応じたレベルのレポートを提出してもらう。